資 料 2

南信州地域のバス・乗合タクシー利用実績（平成25年度上半期）

H25年4月～9月
（単位：人）

路線体系	路線名	デマンド	H25	H24	比　較	
			4月～9月	4月～9月	増減数	前年対比
基 幹	阿島線		9,324	8,571	753	108.8%
〃	駒場線		100,552	97,795	2757	102.8%
〃	阿南線（阿南～飯田） ※温田線含む		22,878	22,270	608	102.7%
〃	上市田線	レ	1,498	1,353	145	110.7%
准基幹	遠山郷線		8,374	6,557	1817	127.7%
〃	平岡線		819	437	382	187.4%
〃	西部コミュニティバス		6,759	5,376	1383	125.7%
〃	大鹿線		4,955	5,147	△ 192	96.3%
一支線	市民バス循環線		43,016	42,957	59	100.1%
〃	市民バス大休線		2,373	2,422	△ 49	98.0%
〃	市民バス千代線		1,376	1,331	45	103.4%
〃	市民バス久堅線		1,159	870	289	133.2%
〃	市民バス三穂線		1,380	1,829	△ 449	75.5%
〃	上片桐循環線		3,373	2,753	620	122.5%
〃	大島循環線		2,509	2,649	△ 140	94.7%
〃	生田循環線		3,306	3,560	△ 254	92.9%
〃	生田線		5,399	6,037	△ 638	89.4%
〃	部奈線		3,003	3,116	△ 113	96.4%
〃	泰阜線		369	395	△ 26	93.4%
〃	阿南町民バス		4,776	5,187	△ 411	92.1%
〃	伍和・智里東		3,511	3,986	△ 475	88.1%
〃	春日・智里西		2,700	2,790	△ 90	96.8%
〃	清内路		3,767	3,996	△ 229	94.3%
〃	浪合		972	1,034	△ 62	94.0%

路線体系	路線名	デマンド	H25	H24	比　較	
			4月～9月	4月～9月	増減数	前年対比
支　線	天龍村営バス		1,817	2,287	△ 470	79.4%
〃	氏乗線		2,800	1,924	876	145.5%
〃	喬木大島線		1,715	1,789	△ 74	95.9%
〃	堀越線		1,170	1,303	△ 133	89.8%
〃	佐原線		1,279	983	296	130.1%
〃	壬生沢線		60	291	△ 231	20.6%
〃	福島線		144	32	112	450.0%
〃	壬生沢福島線		370	366	4	101.1%
〃	滝川阿島北線		358	238	120	150.4%
〃	かざこし線	レ	1,165	1,125	40	103.6%
〃	三穂線	レ	1,742	1,756	△ 14	99.2%
〃	川路線	レ	757	824	△ 67	91.9%
〃	竜東線	レ	4,369	4,201	168	104.0%
〃	遠山郷線	レ	299	175	124	170.9%
〃	上村線	レ	119	156	△ 37	76.3%
〃	下栗線	レ	154	161	△ 7	95.7%
〃	須沢線	レ	88	114	△ 26	77.2%
〃	上島線	レ	48	72	△ 24	66.7%
〃	八重河内線	レ	470	492	△ 22	95.5%
〃	平岡線	レ	1,969	1,346	623	146.3%
全路線　利用者数　合計			259,041	252,053	6,988	102.8%

〔考察〕

平成24年度上半期に比べ平成25年度上半期では、全体の利用者が6,988人増加しています。基幹路線は上市田線を含む全路線とも増加しています。高校生を中心とする定期券の利用者が増えていることが増加の要因と推測されます。

北部地域における利用者の増加がみられます。福島線は中学生が利用したことにより増加しています。氏乗線は無料パス（65歳以上対象）の浸透により利用者が増加しました。

全体的には利用促進啓発普及活動により、住民の公共交通に対する理解が得られてきていると感じます。

（2）平成25年度事業進捗状況について

1　南信州公共交通システム認知度向上事業

圏域住民に対して「南信州公共交通システム」を広く周知し、公共交通の必要性の啓発、自家用車主体の生活様式から公共交通主体への変化を促す。

（1）のってみまいか公共交通第6号を１２月に発行。46,700部全戸配布（一部組合回覧）

①運動不足解消

②高齢ドライバーによる事故防止

③地域温暖化防止の取り組み

④乗継タクシーとバスを利用した和菓子めぐり

⑤第２次南信州地域公共交通総合連携計画についてのパブリックコメント募集

2　公共交通利用促進・利用転換事業

ターゲット毎に利用促進、利用転換事業を実施し、利用者拡大を図る。

（1）のってみまいか公共交通の発行により、エコ通勤、高齢者ドライバーの利用転換を呼びかけた。

（2）今年度創設した地域協働推進事業を活用しながら、主に中学生を対象とした今後の公共交通の利用促進を図る（実施予定）

3　情報提供事業

公共交通のポータルサイト「南信州公共交通インフォメーション」の積極的なＰＲを行い、公共交通の利用上必要な情報提供を行うことで、公共交通利用者の利便性向上につなげる。

（1）第２次南信州地域公共交通総合連携計画（案）のパブリックコメント募集

（2）ツイッターによる公共交通の情報発信

4　各協議会及び市町村等関係各機関と連携した、既存公共交通の改善事業

関係各機関との横の連携を強化し、公共交通の改善を図る。

（1）市町村担当者会議（第１～３回）

第２次南信州地域公共交通総合連携計画（案）に係る担当者会議を３回開催

（2）ダイヤ改正に伴うシームレスダイヤ調整会議を平成２６年２月３日に開催

飯田市地域公共交通改善市民会議、阿智村地域公共交通協議会、西部コミュニティバスを守り育てる会、下伊那南部地域公共交通対策協議会、喬木村、豊丘村地域公共交通会議により、結節点の効果的効率的な乗継ぎ調整を図る。

5　第２次南信州地域公共交通総合連携計画の策定

圏域全体の公共交通計画とするため、関係各機関、市町村と連携により策定する。

（1）計画策定委員会の開催（第１～４回）

第２次南信州地域公共交通総合連携計画（案）を策定する検討会議を設立し４回開催〈国、県、名古屋大学他関係機関〉

（2）市町村担当者会議（第１～３回）

第２次南信州地域公共交通総合連携計画（案）に係る担当者会議を３回開催

6　結節点整備事業

円滑な乗り継ぎや乗り換えを効率的に確保するための検討を行う。

今年度創設した地域協働推進事業を活用しながら、西部地区の結節点停留所「こまんば」バス停にわかりやすい路線図と時刻表が一体となった案内板を設置する。（実施予定）

7　ＪＲ飯田線の利用促進事業

地域内移動には不可欠な交通手段であり、維持確保に向け促進事業に取り組む。

今年度創設した地域協働推進事業を活用しながら、ＪＲ飯田線と乗継タクシーの利用促進を絡めて、主に利用の可能性の高い南部地域を対象に周知する。（実施予定）

（3）平成25年度決算見込みについて

平成25年度 南信州地域交通問題協議会 会計決算書（見込み）

収入金額	9,117,133 円
支出金額	8,284,649 円
差引残額	832,484 円

（収入）　　（単位：円）

科目	予算額	収入済額	収入予定額	決算額（見込み）	比較増減	備考
負担金	2,580,000	2,580,000	0	2,580,000	0	南信州広域連合負担金 2,580,000
地域協働推進事業補助金	2,288,000	0	2,288,632	2,288,632	632	国庫補助 結節点整備事業、ワーキング、時刻表（8市町村）
市町村負担金	3,287,000	0	3,287,340	3,287,340	340	時刻表（地域協働推進事業） 飯田市 2,682,225、松川町 247,695 阿南町・下條村・売木村・天龍村・泰阜村 231,420、阿智村 126,000
繰越金	960,992	960,992	0	960,992	0	前年度繰越金
諸収入	1,008	169	0	169	△ 839	利息
計	9,117,000	3,541,161	5,575,972	9,117,133	133	

（支出）　　（単位：円）

科目	予算額	支出済額	支出予定額	決算額（見込み）	比較増減	備考
運営費	567,000	188,510	378,000	566,510	△ 490	
報償費	229,000	0	229,000	229,000	0	委員等報償費（計画策定委員会4回、総会2回）
旅費	99,000	0	99,000	99,000	0	講師旅費、委員旅費（計画策定委員会4回、総会2回）
消耗品・事務費	239,000	188,510	50,000	238,510	△ 490	紙代、通信運搬費、振込手数料等 事業費より172,000円流用
事業費	6,903,330	272,469	5,802,000	6,074,469	△ 828,861	利用促進・利用転換事業（委託、広報誌、結節点整備事業、ワーキング、時刻表等） 第2次計画策定（製本印刷、概要版印刷） 消耗品・事務費へ172,000円充当
市町村戻入費	1,643,670	0	1,643,670	1,643,670	0	地域協働推進事業補助金 飯田市1,341,113、松川町 123,847 阿南町・下條村・売木村・天龍村・泰阜村115,710、阿智村 63,000
予備費	3,000	0	0	0	△ 3,000	
計	9,117,000	460,979	7,823,670	8,284,649	△ 832,351	

予算の各科目に過不足が生じた場合、会長が認める場合には流用が出来るものとする。

5　その他

運転免許自主返納者に対する支援について

（１）南信州圏域における現在実施中の支援策

①実施主体

下條村

②対象者

下條村に住所を有する６５歳以上の運転免許を返納した方

③支援内容

タクシーチケット１２,０００円相当（５００円分を月２回、年間２４枚）を支給

④施行開始日

平成２１年８月１日

（２）来年度創設する支援策

①実施主体

飯田市地域公共交通改善市民会議〔構成：飯田市（全線）、阿智村（駒場線）、喬木村（阿島線、遠山郷線）、天龍村（平岡線）、高森町（上市田線）〕

②創設理由

高齢者の免許保有率が年々高まり、高齢者ドライバーの交通事故が増加するなか、高齢者等の公共交通機関への利用転換を図る。

③対象者

上記①の対象路線の市町村住民

④支援内容

運転免許を自主返納された方に対し、バス、乗合タクシー、JR 乗継タクシーの回数券から、いずれか一種類（申請者が選択）を交付

利用金額

	バス・乗合タクシー	JR 乗継タクシー
高齢者（65 歳以上）	3,900 円(1,300 円券×3)	2,000 円（1,000 円券×2)
その他一般	3,600 円(1,200 円券×3)	2,000 円（1,000 円券×2)

※回数券は、バス共通、乗合タクシー共通、JR 乗継タクシーの３種類

※JR 乗継タクシーは、電車との乗り継ぎを考慮し、運賃を低めに設定している。

⑤申請回数　１人１回限り

⑥申請の流れ

ア　飯田・阿南警察署において、運転免許を自主返納された対象者に申請書を配布

イ　希望者は、対象市町村経由（飯田市は自治振興センター又はりんご庁舎の窓口）で申請

ウ　市民会議事務局（飯田市リニア推進課）で受理し、申請者へ回数券を郵送

⑦施行開始日

平成２６年４月１日（火）〔※平成２６年２月３日（月）返納者から適用〕

（３）南信州地域交通問題協議会として

その他の路線については幹事会で検討・研究を進める。